



▲矢久保本部長



▲参加者：宮下さん（北原町）

その後矢久保学地区づくり推進本部長による「超少子高齢型人口減少社会と地域づくり」の講演があり、その中で松本市は、健康寿命延伸都市・松本を目指しているが、基盤は地域にあり、地域の絆が大きく影響する。主役である市民と市との協働による地域

づくりを推進し、お互い助け合い、学び合い、安心して暮らせる持続可能な地域社会を目指すとの話がありました。

少し疲れたが、興味深い内容だった」と話してくれました。

結果を受け
今後よりいっそ
う「安全・安心
のまち 芳川」
を目指していく
こと。

区域づくりセンター長により、実配布数5,336件中49.9%の回答があり、その中で70%以上の世帯が、地域の生活に満足しているとのアンケート結果が報告されました。



▲藤井センター長



▲参加者全員に詳しい資料が配られるなど実りある地域づくり

芳川地区 地域づくり学習会開催



平成27年3月1日現在
総世帯数 7,190世帯
総人口 16,681人
男 8,299人
女 8,382人



芳川地区
地域づくり協議組織
設置準備会

会長 小林 豊

地域づくり
芳川地区の
とりくみ

子どもたちによる歓送迎会が各町会で行われました

美芳町

木工町

野瀬町

長丘町

北原町

平田町



の放課後児童登録
築するのに併せて子
を図るもので、
つどいの広場事業
として、乳幼児と保
護者が気軽につどい
、語り合い、交
流できる場所
として利用さ

4月より利用できる子育て支援施設「なんぶすくすく」(未就園の保護者が対象)の開館時間は、日～金曜日の午前9時から午後5時まで。休館日は、土曜日・日曜日及び年末年始です。

れます。
また、育児相談や子育て講座など
も計画されるそうです。芳川地区の
子育て環境に大きな位置づけとな
るでしょう。

芳川に子育て支援施設できました！

芳川児童センターの西側隣地に、

放課後児童クラブ室と併せて、子育て支援施設「なんぶ すくすく」が建設されました。

れます。
また、育児相談や子育て講座など
も計画されるそうです。芳川地区の
子育て環境に大きな位置づけとな



えていただきました。
1歳未満から福祉ひろばを利用している親子などは、こういった場に足を運ぶことにより交流も広がり、情報も交換できているということです。

こともあり、今年初めての試みだそ
う。今回は9組の親子が、着ぐるみの、
んとともに、横断歩道のわたり方や
シートベルトの必要性、信号機の黄
色や歩行者信号の点滅は止まるなど
のルールをわかりやすく、楽しく教

2月20日(金)芳川地区福祉ひらばに於いて、長野県交通安全教育支援センターの指導員さんによる入園を目前にひかえた親子を対象に交通安全教室が開かれました。

毎年、高齢者むけに開催されていましたが親子連れの方々の福祉ひらば利用率が増えた

春には元気に交通ルールを守って楽しく通園できますね。参加したお母さんは、「子どもにもわかりやすくて楽しかつたです。」と話してくれました。私たち大人は、子どもたちのお手本となるように、一層交通安全にこころをいたします。

樂山市森林公安局



芳川の今昔物語

第十一章

たちばなし

たちばなし

今年も千島うすゆき
草の淡い草色の芽が
去年の灰色の枯れ葉
の上に顔を出します
た。十数年前に友人
からいただいた鉢は
冬の間家の中に入
れ、枯れないように時々水をや
ります。芽が出るまで生きてい
るのか枯れたのか分かりませ
ん▼大丈夫かな?と思いつなが
ら毎年この季節を迎えます。で
も時期になれば気をもんでい
る私を枯葉の下で覗いていて
何事もなかったかのようにちや
んと芽を出し、やがて花を咲
かせます▼昨年の夏足を痛め
てあまり山に行けませんでし
た。足が痛いいろいろやる気
がおきません。そんなとき千
島うすゆき草は、今年は今年
の花を咲かせるのよと言つてい
るような気がします。完治して
いない足を一步踏み出せば氣
持ちも変わるかも知れません
▼春、桜が咲き山菜の季節。今
年もまたすねにひつかき傷を作
りながら敷こぎに行こうと
思っています▼大正池ができ
て今年で百年。当時の上高地
を訪れた文人や歴史を学びな
がらの散策も良し、金沢に伸び
た新幹線で北陸の旅を満喫
するも良し▼見て聞いて触れ
て感じて、昨年と違う新しい発
見を始める春です。

郵便業務の他に大正9年5月1日から電話交換業務も取扱ついた。
昭和56年に松本村井郵便局として現在地に移転新築され、現在に至る。

現在

村井町の善光寺
街道沿いに、現在
消防団詰所が建て
られている。この南
隣りに旧郵便局は
あつた。



(昭和20年代頃撮影)

